

‘09 このままでええの?! 日本と世界

10・18

2009年10月18日(日)
京都市・円山野外音楽堂

反戦・反貧困・反差別
共同行動 in 京都

【プログラム】

- 13:20 開会 司会 上原公子さん(前・国立市長)、小林圭二さん(世話人)
- 13:30 主催者あいさつ 仲尾 宏さん(代表世話人)
- 13:40 ライブ 時代と対峙するロックシンガー・パンタ・頭脳警察
- 14:05 特別アピール① 「パレスチナの今」 岡 真理さん(京都大学教員)
- 14:25 講演 「このままでええの?! 日米安保」
額なご厚あつさん(山口大学教員)
- 14:55 国会報告 服部良一さん(社民党国会議員)
- 15:05 特別アピール② 「沖縄に米軍基地はいらない」 知花昌一さん(沖縄・読谷村議)
さんしん協奏1曲 森本忠紀さん
- 15:25 カンパのお願い 田川晴信さん(世話人)
- 15:30 連帯アピール・現場報告
- ① 東九条 CAN フォーラム 朴 実(パク・シル)さん
 - ② 旧日本軍性奴隷問題の解決を求める
全国同時企画・京都実行委員会 浅井桐子さん
 - ③ 子どもの人権を守ろうー
門真三中への「君が代」処分をただす会 川口精吾さん
 - ④ タウンミーティング不正国賠訴訟原告団 蒔田直子さん
 - ⑤ ストップ・ザ・もんじゅ 池島芙紀子さん
 - ⑥ アジア共同行動・京都 野坂昭生さん
 - ⑦ 釜ヶ崎日雇労働組合 佐々木純一さん
 - ⑧ 東京から 9条改憲阻止の会 江田忠雄さん
- *海外から参加 ワールドマーチ(未来への架け橋)
- 16:10 ライブ 浪速の唄う巨人・趙 博さん
- 16:30 集会宣言(山本 純さん)
- 16:35 閉会(司会)
- 16:40 行動提起(寺田道男さん)
- 16:45 インターナショナル
デモ出発(円山公園～四条通～河原町通～京都市役所前・解散)

*主な発言者と団体の紹介は

別紙にまとめてあります。

【主催】反戦・反貧困・反差別共同行動(きょうと)実行委員会

10・18 反戦・反貧困・反差別共同行動 in 京都

賛同人、賛同団体/賛同店

(賛同人) 青木 健、浅井桐子、芦名定道、味岡理一、足立修行、天野博、荒井康裕、李 美葉、池内光宏、磯江みずえ、位田 浩、伊藤公雄、伊藤淳平、稲垣紀代、稲村 守、井上加代子、井上昭明、猪又章臣、今泉正臣、岩崎裕保、岩田吾郎、岩津雅典、岩野政樹、岩本乾治、植木和夫、上野武人、牛尾国彦、卜部昌則、江口慶明、江原 護、大野町子、大菅 新、大須賀 護、大濱冬樹、大原和子、大湾宗則、奥田雅雄、奥西征一、奥野省次郎、奥村フサ子、小多基実夫、小田幸児、落合祥堯、海田修三、海藤壽夫、垣沼陽輔、梶原義行、笠村容子、片山昌伸、金森昂作、河 かおる、蒲池裕治、川嶋繁夫、川嶋澄夫、川野真治、川村賢市、河村宗治郎、川村 望、河村吉宏、北岸達夫、北里秀郎、北本修一、絹岡秀嗣、木下俊子、木下広子、金 榮九、金 千代、草刈孝昭、草川 肇、工藤美彌子、栗村玲子、久留島純一郎、黒石昌朗、児玉利春、小西邦子、小西弘泰、小林一夫、小林圭二、小林将夫、駒井高之、小山敏夫、紺谷延子、齊藤 真、酒井 満、坂口幸子、栄部二子、崎山政毅、佐々木佳継、佐藤浩一、佐藤 大、佐野二三雄、沢野 治、塩川三十二、芝生良樹、渋谷 要、嶋川まき子、清水忠信、清水義昭、白井美喜子、新開純也、菅原文子、杉 勝利、鈴木マサホ、須田 稔、妹尾源市、関 俊子、高桑次郎、高瀬元道、高橋幸子、高橋秀典、田川明子、田川晴信、瀧川順朗、武市常雄、武市菜穂子、竹内 正三、竹内 宙、但馬けいこ、橘 睦子、田中啓司、谷 直樹、多比良建夫、田村文子、崔 忠植、崔孝行、知花昌一、千葉宣義、千葉洋志、塚口幸子、塚本泰史、辻本喜一、槌田 劭、寺田道男、東條文規、戸梶博夫、戸田ひさよし、陶山喜代子、仲尾 宏、永岡浩一、中河由希夫、中沢浩二、中田政義、中田光信、中村在男、永嶋靖久、中濱良二、西岡 智、西方淳子、西浜梢和、西村広宣、西脇 裕、蛭川泰司、野坂昭生、野田雄一、朴 実、橋野高明、長谷川存古、服部良一、馬場光一、早川義輝、菱木康夫、広尾喜代志、府上征三、福山義和、藤井悦子、藤井 聡、藤尾周作、藤野興一、藤原史朗、古橋雅夫、妻 梨花、星川洋史、堀井千恵子、堀 義明、本田正明、前田良典、前田裕晤、牧野一樹、増野 徹、松尾哲郎、松崎五郎、松下佳弘、松田素二、松野尾かおる、松原康彦、松村美会子、松本 修、松本康夫、水野直樹、水野裕之、南 勝次郎、南 健、南徹夫、宮地洋一、宮本博志、三室 勇、三輪 充、村上ひとみ、村上正和、望月温子、物江克男、森 俊一、森博行、森 正孝、森本正三、森本忠紀、六島純雄、康 玲子、弥永 修、山地政司、山元一英、山本 純、山本猛、山本徳二、山本 恵、横山美樹、吉井景子、吉岡史朗、吉岡由喜子、吉武仁貞、吉田信吾、吉本政三、吉本 昇、米澤鐵志、六島純雄、渡辺亜人、渡部義就、渡邊充春 (敬称略)

(*上記の賛同人で、蒲池裕治さん、川村賢市さん、牧野一樹さんは逝去されました。ご冥福を祈ります。)

(賛同団体/賛同店) アジア共同行動京都、アジェンダ・プロジェクト、大谷派九条の会、沖縄辺野古への新基地建設に反対し普天間基地の撤去を求める京都行動、怒っているぞ!障害者切りすて!ネットワーク関西、キッチン・ハリーナ、9条改憲阻止の会関西、釜ヶ崎日雇労働組合、釜ヶ崎連帯委員会、関西合同労働組合、関大校友連絡会、韓 和議と千葉刑務所の仲間達、京都生協の働く仲間の会、京都「天皇制を問う」講座実行委員会、ぐるーぷちゃんぷる、自立労働組合連合、新空港反対東灘区住民の会、ストップ・ザ・もんじゅ、全国一般全国協・中金労組、全日本建設運輸連帯労働組合近畿地方本部、タウンミーティング裁判を支える会、高槻医療・福祉労組、瀬祭書房、東西本願寺を結ぶ非戦・平和共同行動実行委員会、とめよう戦争への道!百万人署名運動関西連絡会、日本キリスト教団京都教区「教会と社会」特設委員会、反戦老人クラブ・京都、パンドラデ、ピースムーブメント、PP1ネット・9条の会、反「入管法」運動関西交流会、ふえみん 京都(婦人民主クラブ)、平和憲法の会京都、郵政労働者ユニオン近畿地方本部、洛南ユニオン、洛南労働組合連絡会議、彌光庵、労働者共闘、和田獣医科病院

【2009年10月14日現在 賛同人 230人、賛同団体/賛同店 39】

上記以外にも公表を控えておられる賛同人が多数おられることを記していきます。

10・18集会の成功のために

反戦、反貧困・反差別共同行動(きょうと)実行委員会 代表世話人 仲尾 宏

ことし、2009年は反戦・反貧困・反差別のたたかいをつづけてきた私たちにとって、二つの意味で大きな節目の年であります。

その一つは40年前の1969年10月21日、ベトナム反戦行動が「国際反戦デー」としてたたかわれました。あの果敢な戦いを記憶にとどめている人も多いでしょう。その結果、ようやくベトナムに平和が取り戻されました。40年後、私たちの眼前にはなお戦火が現出しています。アフガン、パレスチナをはじめ、世界各地で無慮多数の人びとが殺りくと略奪・破壊の恐怖の只中で生きざるを得ない状況が続いています。私たちは、闘いをやめるわけにはいきません。

もう一つの節目というのは、この日本で、政権交代が実現したことです。市民の大多数が積年の自民党政権を退場させました。これは戦後政治史の中で画期的なことでした。しかし、新政権が、人びとの戦争加担拒否、日本社会のあらゆる差別をなくすこと、また小泉政権以来の生活基盤破壊の再建に、どれほど積極的に取り組むかはまだ未知数です。また、今の世界と日本の資本主義の危機的状況は、これらの課題解決にとって容易ならざる事態に到達しています。新政権が人びとの期待に応えられるか否かは、彼らの政権担当力もさることながら、市民一人一人がハッキリと投票行動にこめた意思を明確にすることによって決まります。そしてそれを行動によって表わすことで、国内外のあるべき政治方向を明確に指し示すことも必要でしょう。

海外の戦争状態のみならず、沖縄、岩国、あいば野などの反基地闘争、また格差社会を解消するために、非正規労働者、外国人労働者らの正規労働者化—労働基本権の回復の運動を展開し続けなければなりません。本日の集会が、以上のような課題を一人一人が確認し、職場で、地域で、学校や大学で声をあげ、友とかたらい、着実に果敢な行動の展開に結び付ける、その決意を固める場になることを心より期待します。その決意の表れを3年目の四条河原町への大デモンストレーションで締めくくりましょう。

今後とも、皆さんのご協力とご賛同をお願いします。共に闘いましょう。 (2009年10月18日)



【写真は、昨年の10/19反戦・反貧困・反差別共同行動 in 京都のデモです】

講演/特別アピール ライブ/連帯アピール

講演

綾森 厚 (こうけつ あつし) さん

1951年生まれ。明治大学院政治経済学研究科政治学専攻修士課程修了。現在山口大学人文学部教員、博士(政治学)。専門は、日本政治史、とくに政軍関係。憲法を活かす市民の会・やまぐちの世話人。元「軍事民論」編集部長。著書には、「日本海軍の終戦工作—アジア太平洋戦争の再検証」(中央公論社・中公新書)、「侵略戦争—歴史事実と歴史認識」(ちくま書房・ちくま新書)、「有事体制論—派兵国家を超えて」(インパクト出版会)、「「聖断」虚構と昭和天皇」(新日本出版社)、「監視社会の未来—共謀罪・国民保護法と戦時動員体制」(小学館)、「私たちの戦争責任」(凱風社)、最新では「日本は支那をみくびりたり」—日中戦争とは何だったのか(同時代社)など多数。

特別アピール

岡 真理 さん

1960年生まれ。東京外国語大学大学院修士課程修了。在モロッコ日本国大使館専門調査員を経て、現在京都大学大学院人間・環境学研究科教員。専攻は現代アラブ文学、第三世界フェミニズム思想。また、パレスチナ問題に学生時代から深く関心を持ち、現在は各地で講演や学習会に講師として活躍中。さらに大学内でもパレスチナからゲストを招き、研究室主催の公開講演会・シンポジウムなどを開催している。著書には「アラブ、祈りとしての文学」(みすず書房)など、最新作ではサイド・アブデルワーヘド「ガザ通信」翻訳岡真理&TUP(青土社)がある。

知花昌一 さん

1948年、沖縄県中頭郡読谷村生まれ。沖縄大学中退。学生時代に自治会委員長として沖縄闘争に参加。その後、スーパーマーケットや民宿を経営しながら、沖縄戦の集団自決の調査などをし、米軍の基地撤去闘争はもとより、さまざまな反戦・平和運動を展開している。1987年開催の沖縄国体で、地元・読谷村でのソフトボール会場で「日の丸」を引き下ろし焼き捨てた。1989年に多田諺子反権力人権賞を受賞。1998年から読谷村議会議員。著書には「焼きすてられた日の丸 基地の島・沖縄読谷から」などがある。最近は、「さんしん」に力が入る。

ライブ

パンタ さん

本名は中村治雄、1950年生まれ。日本のロックヴォーカリスト、作曲・作詞家。1970年から1975年は「頭脳警察」、その後はソロ活動と「頭脳警察」の再結成、再々結成を重ねながら音楽活動を展開している。ロックを武器に三里塚闘争を始め時代と対峙し、反戦・平和を訴える。また重信房子さんと交友関係があり、アコースティックユニットとして発表した「響」のアルバム「オリーブの樹の下で」では、「母への花束」、「七月のムスターファ」以外の詞は重信房子さんが書いている。また「母への花束」は娘の重信メイさんが歌詞を書いている。「PANTAX'S WORLD」、「闇からのプロパガンダ R*E*D」、「オリーブの樹の下で」など多数のアルバムを出している。

趙 博 (チョウバク) さん

1956年 大阪市西成区で在日朝鮮人2世として出生。1965年の日韓条約締結で韓国籍となる。関西大学大学院で文学修士号取得後、関大講師、河合塾講師をへて、現在は在日韓国人ミュージシャン&歌劇派芸人として知られている。愛称は「浪速の唄う巨人・パギヤん」。ブルース・ジャズ・ロック・フォークはもちろんのこと朝鮮や韓国の古典民謡やニホンの浪曲も得意で、年間ライブ数は100回に迫る。多数のCDアルバムを発表。さらに、1本の映画を独りの唄と語りで演じる「歌うキネマ」も好評。演目は、「ホテル」、「マルコムX」、「砂に器」、「パッチギ」など。

(以上、紹介文は、ネットから、編集は実行委員会)

連帯アピール

京都・東九条CANフォーラム

正式には、京都・東九条CAN (Community Action Network) フォーラム。東九条で活動する「東九条マダン」や「エルファ」「オモニハッキョ」など、さまざまな団体のネットワークで、東九条を多民族・多文化交流の街として活性化する目的で本年5月結成。連続市民講座や、毎月1回の例会をしている。行政に対してチャンゴが叩ける「多文化交流コミュニティセンター(仮)」設立などを呼びかけている。11月3日にひらく「第17回東九条マダン」では、「コンナムルパブ(豆もやしご飯)」を売り出し、これを東九条の名物食にしようと思っている。

旧日本軍性奴隷問題の解決を求める 全国同時企画・京都実行委員会

日本軍「慰安婦」問題は、1990年代に被害女性たちの勇気ある名乗り出が、歴史を動かしてきました。日本政府は当時「軍の関与」や強制性を認めたものの、その後歴史を否定する発言を繰り返し、国際的に非難をあびています。年老いた被害女性が生きている間に、謝罪と補償が行われなければなりません。私たちは、日本軍「慰安婦」問題の解決を求めて、2004年から活動してきました。毎年、韓国、フィリピン、台湾から被害女性を京都にお招きして証言集会を行ってきました。今年が最後の証言集会になるかもしれません。多くの方が、おばあさんの人生に向かい合い、出会ってほしいと願っています。

子どもの人権を守ろう—門真三中への 「君が代」処分をただす会・川口精吾さん

門真市第三中学校教員。昨年3月13日、同校卒業式「君が代」斉唱時に卒業生の大半が着席した。担任団の教員も全員着席した。3月37日、産経が「偏向教育」と報道。翌日、右翼勢力から抗議が殺到した。今年2月20日、門真市教委は川口教員と学校長に訓告処分、他の担任団7名に口頭嚴重注意処分をした。大阪で不起立のみで初の処分。現在、『一子どもの人権を守ろう—門真三中への「君が代」処分をただす会』を結成。処分撤回のため11月上旬提訴予定。

タウンミーティング不正国賠訴訟

9月17日、大阪高裁は、TM不正国賠訴訟の控訴審で、原告逆転勝訴判決を言い渡しました。国・京都市が不正抽選で原告らの参加を阻止したことは、公務員の職務義務違反として、損害賠償を命じたのです。国は「上告理由が見当たらない」として、上告を断念しましたが、京都市は単独で上告。当時の教育長としての門川市長の責任は重大です。私たちも、勝訴判決ですが、一部、憲法判断に納得いかない点があり上告しました。

ストップ・ザ・もんじゅ

超危険な「もんじゅ」を廃炉にするため、当会は、結成以来20年、「もんじゅ」の危険性、非経済生、核疑惑などを、さまざまな取り組みで訴え続けてきた。100万人署名、公開討論会、意見広告、全国集会、国への提言、世論作りのためのオリジナルビデオやDVD製作などなど、廃炉に向けて奮闘を重ねています。ニュース購読は年3000円です。最新情報を伝えます。ぜひご支援を！

【昨年の10・19反戦・反貧困・反差別共同行動in京都の集会風景】



アジア共同行動・京都

アジア共同行動・京都は、1995年に設立された京都における労働者・市民・青年学生などの共同行動です。新自由主義グローバリゼーションと侵略戦争に反対する国際共同闘争を推進し、米軍再編・日本の戦争国家化と対決してきました。また、この数年は岩国の反基地闘争への連帯・支援に全力で取り組んできました。11月28日・29日には、岩国現地で住民交流、労働者反戦交流集会、国際集会などさまざまな企画が開催され、全国各地から多くの仲間が参加します。貧困と抑圧、戦争のない人らしく生きられる世界をめざしてともに頑張りましょう。

釜ヶ崎日雇労働組合

1976年結成。半タコ・ケタオチナ飯場追放の闘いを牽引。90年代、反失業闘争では失業・野宿問題の解決には「就労を軸とした支策」を提起し闘い続けてきた。釜日労は、構造的不況が深まり、官僚主導による社会システムが崩壊していく中で、「高齢者就労事業」やシェルターを勝ち取り、NPOをつくり、「行政の手先」などと言う闘いの変化を理解できない人たちの古い批判を受けつつも、責任を持って、働きながら命を守っていく、そんな新自由主義の時代を切り拓く「社会の新しいシステム」創りの闘いを土台に労働運動を展開していきます。

(以上の紹介は、各団体から寄せられたものです)

9条改憲阻止の会

憲法の改訂が政治日程が上がった。憲法の改訂の眼目は現憲法の第9条(戦争放棄条項)の改訂である。憲法改定の動きに対する反対の声は静かであるが、深く浸透している。ただ、これを力として結集していく動きは弱い。これに対する危機感を共有する1960年の安保世代の面々が立ち上げた(2年前)のが「9条改憲阻止の会」である。9条改憲阻止の1点を共通の目標にした会である。この会が何であるかは、その所業によって示される。

(ネットから引用したものです)

世界の子どもたちのために平和で暴力のない明日を

2009年10月2日～2010年1月2日

この8年アフガン戦争、イラク戦争、ガザ攻撃、アフリカでどれほどの子どもたちが死んだのでしょうか。誰かが止めてくれるだろうと思っても、誰も止められなくなる戦争。新聞も伝えないところで、オートマチックウェポンなどの軍隊の通常兵器、小さなミサイルを積んだ無人攻撃機などの新兵器、それらが何も「防衛」手段を持たない子供が走って逃げるのを追いかけてきて、命を止めます。首を飛ばします。餓死や病気にさせます。孤児にします。身体や精神を変えます。笑顔と自尊心を奪いトラウマを残します。復讐の鬼となったテロリストにします。・・・また国際関係に目を移せば、核やミサイルを持つ国が気に入らない国に先制攻撃をするぞと脅して、その国をますます核所有に走らせ、一方その対立国にはミサイルを売ろうとします。ミサイルはどんどん長くなり、宇宙には監視衛星がいくつもまわっています。宇宙や地球を支配する大国の計画すらあるそうです。

こんな世界ではなかった。平和な世界が欲しい。違う世界にできないのか。どうすればそんな世界が手に入れられるか・・・ずっと7年間考えてきた人が、平和を願う人なら世界の誰もが参加できる、平和を求める者の「意志表明」の機会をつくろう、平和が人類最大多数の意志だと確認し、戦争は許さないとの意志を、戦争を起こしたい勢力へ示そうと思いつきました。多くの仲間たちが賛同し、さらに多くの仲間が連なり、人類初の世界規模の平和運動「ワールドマーチ」を始める土台ができ、世界の政治家、宗教家、文化人、有名人、スポーツチーム、NGO、などたくさんの人々が支持を表明しました。

そしてとうとう、そのワールドマーチが始まりました。

非暴力行動主義を教えたガンジーの生誕記念日の10月2日（国際非暴力デー）にニュージーランドから始まり、

来年1月2日に南米アンデス山脈の町で終わる、

90日間、90カ国をまわる世界一周のマーチです。

開始日には核兵器廃絶を願い、広島・長崎の火が点火されます。

日本では、

10月17日 福岡→広島、 18日 京都、 19日 東京

をまわります。ぜひ応援とご参加を！

＝マーチの目的は5つ＝

核兵器による人類滅亡の危機を訴えること。戦争と軍拡競争に反対すること。いろいろな形のかくれた暴力を世界に知らせ被害者を支えること。暴力を非難し、本当の平和がすぐにも必要だと世界の人々に訴えること。 次の目標を達成すること

＝マーチの目標は5つ＝

世界中で核兵器をなくすこと。他の民族や国の領地を占領している侵略軍がすぐ占領をやめて引き上げるようにさせること。普通の兵器を毎年おなじ割合で減らし続けること。戦争状態の国と国で相手側を侵略しないと決めさせること。多国とのもめ事を戦争にしないと世界各国で決めること。

世界を二手や三手に分かれて回る、各国から志願したマーチャーたちは普通の市民です。

日本にやってくる、ラファエロ、ホレーショ、イサベル、ホアニータ、レナッタ、ジェラルド、ピエール、マルコ、ステファノー、アルバロ、トニーの11人の皆さん。

日本にも平和を愛する人たちはたくさんいます。その人たちの分まで平和への願いを世界に届けてください。がんばって。ありがとう。

集会宣言 (案)

すべての労働者・市民・青年学生の皆さん！8月30日の衆議院総選挙において、自民党・公明党が惨敗し、民主党・社民党・国民新党による鳩山連立政権が成立しました。日本経団連の御手洗プランが示すように、この10年にわたって日本の資本家たちと自公連立政権は、民衆にすさまじい犠牲を集中する新自由主義政策と日本の戦争国家化を推進してきました。そのもとで、労働者に賃金切り下げと失業・非正規雇用を強制し、後期高齢者医療制度の実施や生活保護母子加算の廃止などの社会保障の改悪によって、生存権すら奪われるような事態を拡大してきました。とりわけ、昨年秋以来の世界金融危機・同時不況のもとで、「派遣切り」など労働者が次々と首を切られ、失業率は最悪の水準となってきました。このような貧困と無権利の強制に対する民衆の怒りと闘いこそが、ついに自公連立政権を崩壊においやったのです。

新たに成立した鳩山連立政権は、小泉構造改革路線からの転換を宣言し、自衛隊のインド洋派兵や米軍再編の見直し、日米地位協定の改定を掲げるなど、自公連立政権とは異なる政策をとろうとしています。しかし、このような鳩山政権に対して、日本経団連をはじめとした資本家たちは、国際的な資本間競争に勝利するために新自由主義政策の継続を迫っていきこうとしています。オバマ政権もまた、日米同盟にもとづく国家間の合意事項だとして、辺野古新基地建設など米軍再編・日米軍事一体化を引き続き推進していきこうとしています。このような圧力のもとで、日米同盟を基軸とした保守政党である民主党が、数年のうちに新自由主義政策へと立ちもどり、自民党にかわって日本の戦争国家化を再び推進していくことも十分にありうることです。

いま全国の反基地運動、労働運動やさまざまな民衆の運動が、鳩山政権に対して自らの要求を突きつけ、その実現を迫るといふ大きなうねりが生みだされてきています。このうねりと結びつき、私たちもまた反戦・反貧困・反差別という民衆の要求を突きつけ、戦争のない人らしく生きられる社会をめざして新しいたたかいを開始しようではありませんか。生活できる仕事と賃金をすべての労働者に保障させ、格差ではなく平等を要求し、競争ではなく連帯と共生にもとづいた新しい社会をつくりだしましょう。米軍のイラク・アフガンからの全面撤退を要求し、イスラエルによるガザ封鎖・パレスチナ軍事占領に反対してたたかきましょう。インド洋やソマリア沖からただちに自衛隊を撤退させ、沖縄・岩国・神奈川などの反基地運動に連帯し、米軍再編・基地強化を阻止しましょう。とりわけ、11月のオバマ来日に向けて普天間基地の即時閉鎖を要求し、辺野古新基地建設を阻止するためにたたかうことは緊急の課題です。これらのたたかいを通して日米軍事同盟と対決し、アジアからの米軍総撤収をアジア民衆とともに実現しようではありませんか。また、衆参両院の憲法審査会の廃止を要求し、アジア-全世界への侵略戦争の道をひらく憲法改悪を完全に葬り去りましょう。すべての原発の廃止を要求し、日本の核武装への道を断ち切りましょう。私たちは、かつての日本のアジア侵略戦争と植民地支配、沖縄戦での日本軍による「集団自決」強制の事実を教科書に復活させ、歴史教育を根本的に改めることを要求します。改悪教育基本法の実施を許さず、教育への国家統制の強化に反対し、子どもたちの未来のためにたたかきましょう。天皇制の強化を許さず、11月12日の天皇在位20年奉祝式典に反対しましょう。

このような私たちのたたかいは、新自由主義グローバリゼーションと侵略戦争に反対する全世界の民衆のたたかいに連帯するものです。ブッシュ政権が推進した新自由主義グローバリゼーションと侵略戦争は、全世界において破綻してきました。世界各地において反米抵抗運動が高まり、中南米では次々と反米左派政権が誕生してきました。東アジアにおいても、米朝関係が大きく動きだそうとしており、朝鮮戦争以来の戦争状態を終結させ、朝鮮半島南北の自主的平和統一に向かおうとするうねりが生みだされつつあります。私たちは、このような世界の民衆と手を結びつき、2007年10月21日の円山集会から毎年10月の集会に取り組んできました。私たちは、本日の10・18集会を次へのステップとして、反戦・反貧困・反差別の旗を高く掲げ、広範な共同のたたかいをさらに推進していきます。未来への希望は、民衆の連帯とたたかいのなかにこそあります。ともに頑張りましょう。

2009年10月18日

‘09 このままでええの?! 日本と世界

反戦・反貧困・反差別共同行動 in 京都

【 集会スローガン 】

- ★イラク・アフガンから米軍は撤退せよ！ イスラエルはパレスチナ占領をやめろ！
- ★インド洋・ソマリア沖から自衛隊は撤退せよ！ 海賊対処法を廃止せよ！
- ★沖縄・韓国・日本国内の米軍再編反対！ 日本からすべての米軍基地を撤去せよ！
沖縄・辺野古への新基地建設反対！
- ★侵略戦争への道をひらく憲法改悪反対！ 憲法審査会開催反対！
- ★アジア民衆への加害の歴史をかくすな！
- ★格差社会を打ち破り、人らしく生きられる世界を！
労働者派遣法を抜本的に改正せよ！
- ★あらゆる差別に反対し、人権を確立せよ！
- ★子どもたちに未来を！ 教育の国家統制反対！
- ★治安弾圧反対！ 天皇在位 20 年祝賀行事反対！
- ★新自由主義グローバリゼーションと侵略戦争を許さない！

反戦・反貧困・反差別共同行動（きょうと）実行委員会

今年で本集也会も3回を重ねました。これまで闘いの広がり求めて、集会の持ち方や実行委員会のあり方を試行錯誤しながら進めてきました。当初は、反戦と9条改憲阻止を団結の軸に「10・21 反戦共同行動実行委員会」を結成しとりくんできましたが、さらに、深まる貧困と格差社会拡大の問題を正面から見据えた反戦、9条改憲阻止の闘いをすすめるために、上記の実行委員会名に改めました。

これまで以上に、私たちの思いを強く共有し、運動の広がりを図っていきます。また、通称名は、「反戦行動きょうと」として、さまざまな戦線や運動体、個人に、反戦・平和のための共同行動を訴えています。

毎月、実行委員会を開催し、諸課題の学習と交流を深めながら諸集會にとりくんでいます。ぜひ、ご参加を！

【世話人】 仲尾宏（代表世話人）

田川晴信、千葉宣義、米澤鐵志、新開純也、高橋幸子、瀧川順朗、府上征三
小林圭二、工藤美彌子、(順不同)

【連絡先】 〒614-8375 京都府八幡市男山弓岡5 B6-402 寺田道男(宛)

電話/FAX 075-981-4121

携帯 090-5166-1251(寺田)、090-7750-5493(武市)

【郵便振替】 00950-5-108500 加入者名 反戦・反貧困・反差別共同行動(きょうと)

E-mail 10.21hansen@gmail.com HP: <http://www.kyotohansen.org>

総括会議のご案内

日時: 10月28日(木)午後6時30分から

場所: キャンパスプラザ京都 (JR 京都駅から西へ徒歩2分)

誰でも参加できます。ぜひ、参加してください。自由に意見交換をしたいと思います。